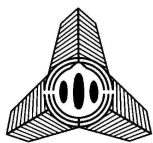


学校教育目標 『心はずませ 夢にむかって』

みどり かぜ



緑の風

～豊かな心・確かな学力～

潟上市立天王小学校
学校報 第17号



平成28年12月2日

☆ 躍動する若者たち ☆



【教育実習生による外国語活動の授業から】

【子どもたちに説明する教育実習生：12/1】

第15号でお知らせしましたように、今日で大学生の〇〇〇〇さんの教育実習が終了しました。約4週間の間、5年竹組を中心に様々な教育活動に取り組んでくれました。中でも、昨日は教育実習の最後を飾る、「外国語活動」の授業を5年竹組の子どもたちと一緒に展開してくれました。

私も授業を参観させてもらって一番感じたことは、この世代の若者たちが、これからの潟上市の教育を担っていくということでした。それは、彼女たちの世代は秋田弁英語を学んできた我々世代とは、明らかに外国語に対する『感性』が全く異なるからです。

具体的に言えば、①外国語を話すことや伝えることに対するアレルギーが少ないこと、②発音 (pronunciation) が限りなく native に近いこと、③英語を一つのコミュニケーションツールとして自然に活用していること、などです。だから、子どもたちと交わっている会話がまるで日本語であるかのように自然な形で成立させています。したがって、子どもたちも安心して英語に親しむことができます。この差は実に大きい。こうした教師たちから学ぶ「風の子」たちが、世界に羽ばたく人材に育っていくことを実感させられたひとときでした。本校の教職員にとっても、学ぶことの多い授業研究となりました。

ただし、当然のことながら教育実習生の授業展開には、まだまだ未熟な点が多くあります。これは今後の経験や自らの研鑽によって、克服していくことが十分可能です。

4週間の教育実習を終え、新たに見えてきた自分自身の課題について、大学でしっかりと学びを深めてくれることを期待します。今年は、9月に教育実習に訪れた2人の秋大生と共に、今回の〇〇さんを含め潟上市ではこうした若者が着実に育ってきています。潟上市の未来は明るい。そんなことを実感した今回の教育実習でした。(校長 佐藤博英)